

2026年度 前期教育計画

面接指導施設名	科学技術学園高等学校			
教科	科目	単位数	履修上の留意点	担当者
数学	数学C	2	特になし	本校教員・スクーリング講師
指導目標				
ベクトルと平面上の曲線、複素数平面について理解させ、知識の習得を図る。				
教科書名	数学C	副教材等	本校作成学習書	
面接指導 (スクーリング)	全実施時間数 6 時間	レポート添削指導	全 6 回	
	標準面接時数 2 時間	メディア減免時数	1時間	
定期試験	あり	年間(学期) 1 回	評価割合	定期試験 70% 添削課題 30%
評定算出方法	評点が100～85点は5、84～70点は4、69～50点は3、49～35点は2、34～0点は1			

レポート添削課題		
回数	学習内容	提出期限
1	ベクトルの加法・減法、ベクトルの実数倍、ベクトルの分解、座標とベクトル	5月10日
2	ベクトルの内積	5月25日
3	位置ベクトル、ベクトル方程式	6月10日
4	放物線の方程式、楕円の方程式、双曲線の方程式	6月25日
5	曲線の媒介変数表示、極座標と極方程式、直行座標と極座標	7月10日
6	複素数平面、複素数の極形式、複素数の積と商、ド・モアブルの定理、複素数平面上的図形	7月25日

面接指導(スクーリング)		
時間数	学習内容	実施日
1	ベクトルの加法・減法、ベクトルの実数倍、ベクトルの分解、座標とベクトル	4月25日
2	ベクトルの内積	5月13日
3	位置ベクトル、ベクトル方程式	6月14日
4	放物線の方程式、楕円の方程式、双曲線の方程式	6月17日
5	曲線の媒介変数表示、極座標と極方程式、直行座標と極座標	7月8日
6	複素数平面、複素数の極形式、複素数の積と商、ド・モアブルの定理、複素数平面上的図形	7月19日

メディア減免 視聴メディアおよび視聴項目		
配信回数	学習内容	視聴時期の目安
1	ベクトル①	～4月25日
2	ベクトル②	4月26日～5月13日
3	平面上の曲線①	5月14日～6月17日
4	平面上の曲線②	6月18日～7月8日
5	複素数平面①	7月9日～7月19日
6	複素数平面②	

試験		
試験種別	試験範囲	試験日
本試験	レポート添削課題 第1回目～第6回目	8月19・20日
追試験	レポート添削課題 第1回目～第6回目	8月25・26日